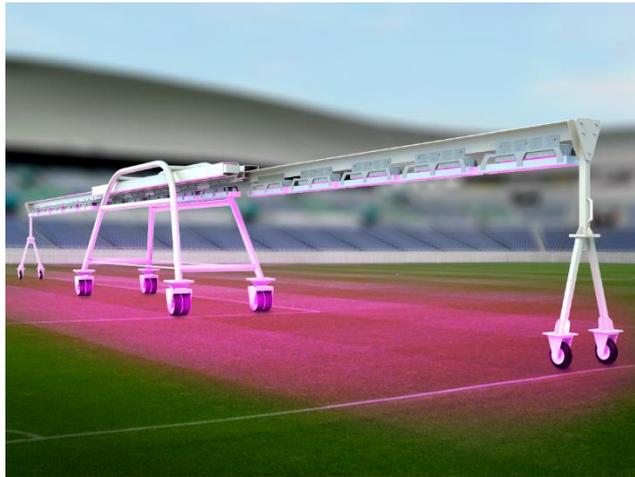


天然芝生長促進用 LED システムを開発 ～日照不足区域におけるスポーツターフの生長を促進～



※写真はイメージです。

天然芝生長促進用 LED システム

セキシン電機株式会社(東京都目黒区、代表取締役 東野真、以下セキシン電機)は、このたび新規事業として、天然芝生長促進用 LED システムの開発を行い、セキシン電子株式会社(滋賀県長浜市、代表取締役 東野真)にて製造を開始しました。

セキシン電機は、スタジアム施設環境下で日照が不足することにより発芽・生長時期が限られるという天然芝の課題に着目し、2012年にソニービジネスソリューション株式会社(東京都港区、代表取締役 宮島和雄、以下ソニービジネスソリューション)、株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー(茨城県鹿嶋市 代表取締役 井畑滋)、国立大学法人信州大学(長野県上田市、谷口彬雄名誉教授、松村英生准教授)とともに、ターフ・ファクトリー・プロジェクトを発足させました。本プロジェクトでは、年間を通して良好なピッチコンディションを保つことを目指し、LED照明装置による寒地型・暖地型(※)の芝育成に関する研究を続けてまいりました。

※:生育適温が異なる芝のタイプを示す分類です。

ターフ・ファクトリー・プロジェクトを通じて、植物栽培用 LED の照射条件等の検証を重ね、この度、天然芝生長促進用 LED システムをソニービジネスソリューションと共同で開発に成功いたしました。本システムを芝の上に設置し、一定時間 LED の光を照射することで、光合成に必要な波長の光が効率的に照射され、芝の生長を促進する効果が期待されます。

本システムには、昭和電工株式会社(東京都港区、代表取締役 市川秀夫)製の植物育成用 LED チップと軽量アルミニウム製架台を採用いたしました。

本システムの主な特長は以下のとおりです。

1. LED 光源からの照射で光合成に最適な光を供給

世界最高水準の発光効率を誇る、植物の光合成に最適な赤色(波長 660nm)・青色(450nm)LED 素子を搭載し、芝の生長促進を低消費電力で実現。さらに、赤青の独立調光、タイマー機能により、様々な芝種に対応した照射条件の最適化が可能。

2. 運用を考慮した筐体仕様

軽量アルミ合金フレームに、伸縮機能を備えたコンパクトな形状での運搬、収納が可能。また、芝面に損傷を与えないように、接地圧を分散するタイヤ構造と屋外使用に耐え得る防塵防水機能を装備。

セキシン電機は、低消費電力の LED を応用したシステムの開発・製造を積極的に推進してまいりましたが、今後も LED ソリューションビジネスに注力して社会に貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせ先:セキシン電機株式会社 総務 TEL:03-5722-1630

セキシングループ URL <http://www.sekishin-group.co.jp/>